



インド ポピュラー・アートの 世界

～近代西欧との
出会いと展開

2011年9月22日(木)～11月29日(火)
国立民族学博物館 本館 企画展示場A

主催 国立民族学博物館

助成 独立行政法人日本万国博覧会記念機構
Supported by the Commemorative Organization for the Japan World Exposition('70).
この助成金は、日本万国博覧会の収益を基にしています。



19世紀後半から20世紀前半にかけて西欧文明との出会いの中で誕生し、ユニークな発展を遂げたインドのポピュラー・アート（印刷宗教画、彩色写真、絵葉書、ポスター、カレンダー、マッチやたばこの包装紙画など）。約140点の印刷絵画やポスター、コラージュの展示を通じて、その成り立ちや魅力を紹介し、今日の「インド」イメージの源流に迫ります。



indian popular art

インド ポピュラー・アートの世界

国立民族学博物館企画展

～近代西欧との
出会いと展開

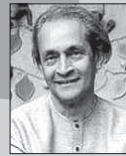


インドのポピュラー・アートは、宗教画や細密画の伝統を下地に、19世紀にインドに到来した印刷技術、西欧風の構図やモチーフの影響を深く受けて成立しました。そして宗教画・ポスター・カレンダー・マッチやたばこの包装デザインなど様々な媒体に展開し、独特のテーマや技法を有するユニークな美術ジャンルに発展しました。まさに日用品の中の芸術として人びとの生活に根づいて発展してきたのです。当時のポピュラー・アートを読み解くことは、それを作成し鑑賞した人びとの世界観や価値観を知ることにつながります。

またこの時期に確立したポピュラー・アートは、現代のインドイメージの形成や今日のインドの大衆の美的センスや趣味にも大きな影響を与えています。ポピュラー・アートは現代インドを理解するための1つの鍵と言えるでしょう。

本企画展ではインドポピュラー・アートを長年研究してきたインド視覚芸術センター所長のジャイン博士のコレクションの中から約140点を紹介します。このコレクションはインドだけでなく、イギリス・フランス・ドイツなどでも展示され、各地で高い評価を得ています。日本では初公開となるものです。

Jyotindra Jain
博士



1943年インド生まれ。インド視覚芸術センター所長。1972年オーストリア・ウィーン大学で博士号。1984～2000年インド国立民族学博物館館長。2000年ジャワラハルルール・ネルー大学美術学部創設と同時に学部長就任（07年まで）。2008～2011年インディア・ガンディー国立芸術センター所長。2011年より現職。

インド美術史を専攻、特にインド各地の民芸の探究・収集・展示に尽力。英文研究著書多数。インド近現代のポピュラー・アートのユニークな特徴にも早くから関心を寄せ、膨大なコレクションを作り上げている。今回の企画展ではその一部が日本で初めて公開される。

関連企画のご案内

みんぱく ウィークエンド・サロン - 研究者と話そう

本企画展の準備に携わってきた研究者が展示場でインドのポピュラー・アートの背景や見どころをわかりやすく解説します。11月には展示作品のコレクターのジャイン博士が来館し、自身のコレクションについてお話しします。日程は右の通り。詳しい時間やテーマはみんぱくホームページ等で別途ご案内します。

- 10月2日(日) 三尾 稔
(国立民族学博物館・研究戦略センター・准教授)
- 10月16日(日) 福内千絵 / 三尾 稔
(国立民族学博物館・外来研究員)
- 11月6日(日) Jyotindra Jain / 三尾 稔
(インド視覚芸術センター所長) *日本語通訳付き

国際研究セミナー

「近現代インドのポピュラー・アートとナショナリズム」をテーマに、ジャイン博士などをゲスト・スピーカーとして11月5日(土)に国立民族学博物館において国際研究セミナーを開催します(英語。通訳なし)。詳細はみんぱくホームページ等で別途ご案内します。

開館時間：午前10時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

休館日：水曜日(水曜日が祝日の場合は、翌日が休館)

観覧料：一般420円(350円)、高校・大学生250円(200円)、小・中学生110円(90円)

()は、20名以上の団体料金、大学等*の授業でご利用の方、授業レポート等の作成を目的とする高校生、3ヶ月以内のリピーター、満65歳以上の方の割引料金(要証明書等)
*大学等は、短大、大学、大学院、専修学校の専門課程

無料観覧日：11月3日(木・祝)、11月19日(土)、11月20日(日)

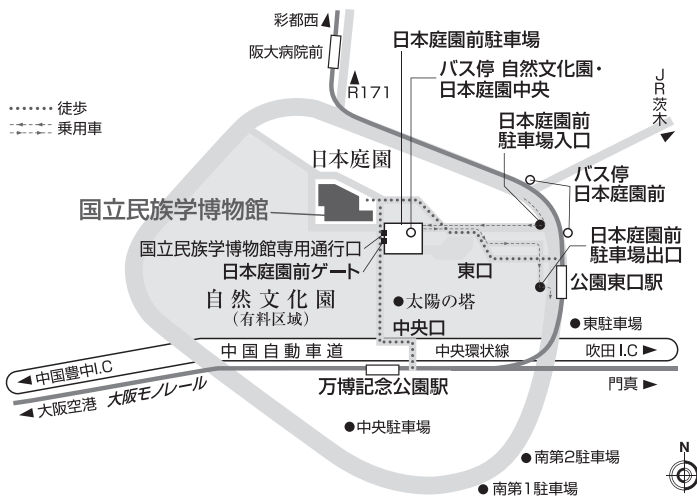
※自然文化園(有料区域)を通行される場合は、自然文化園各ゲート脇の券売機で当館(国立民族学博物館)の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。

※障害者手帳をお持ちの方は、付添者1名とともに無料で観覧できます。また、毎週土曜日は、小学生・中学生・高校生は無料で観覧できます。ただし、自然文化園を通行される場合は、同園の入園料が必要です。

交通のご案内

*国立民族学博物館(みんぱく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。「みんぱく」とは大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。

- 大阪モノレール
[万博記念公園駅]下車、徒歩約15分(展示をご覧になる方は、みんぱくの観覧券をゲートにてお買い求めにければ無料で通行できます。)
[公園東口駅]下車徒歩約15分
(公園東口駅からは自然文化園(有料区域)を通行せずに来館できます。)
- バス
[近鉄バス] (阪大本部前行き) 阪急茨木市駅から約20分
JR茨木駅から約10分[日本庭園前]下車、徒歩約15分
[阪急バス] (万博記念公園駅経由千里中央行き)
阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分
「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約5分
- タクシー
万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。下車、徒歩約5分
- 自動車
駐車施設が無い「みんぱく」への車の乗り入れはできません。
万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。最寄り「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分
*「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある国立民族学博物館専用通行口をお通りください。



お問い合わせ先 国立民族学博物館

〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10番1号
TEL: 06-6878-2151 (代)
<http://www.minpaku.ac.jp/>



◀みんぱく
携帯サイト